

研究会開催通知

(昭和54年1月15日～2月28日)

研究会	日	時	会場	備考
データベース管理システム	1月18日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	前号参照
人工知能と対話技法	1月27日(土)	13:30～16:30	大阪大学	同上
イメージ・プロセッシング	2月6日(火)	14:00～17:00	国土地理院	下記参照
医療情報処理	2月17日(土)	14:00～17:00	大阪大学	同上
コンピュータ・ネットワーク	2月22日(木)	13:30～17:30	機械振興会館	同上
計算言語学	2月23日(金)	14:00～17:00	同上	同上

◆ 第22回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査：尾上守夫，代表幹事：長尾 真，白井良明，高木幹雄)

- 日時** 昭和54年2月6日(火) 午後2時～5時
- 会場** 建設省国土地理院 1階会議室
〔目黒区東山 3-24-13, 地下鉄：新玉川線池尻大橋下車，徒歩5分，Tel.03(713)0141 内線 229〕
- 議題**
- (1) 画像データ管理システム 白井良明(電総研)
〔概要〕 画像の蓄積とアクセスをサポートするソフトウェアを作った経過と主な働きを述べる。
- (2) 経済的な教師なし分類の一手法
秋山 実，金子純一(国土地理院)，村井俊治，奥田 勉(東大・生研)
〔概要〕 リモートセンシングにおける教師なし分類の一手法として，画素グループ単位の統計量を利用した方法を開発した。
- (3) 1/50万及び1/20万衛星画像合成図の試作
鈴木康志，山本智偉(エフ・アイ・ピー)，秋山 実(国土地理院)
〔概要〕 LANDSAT-MSSデータの幾何歪を補正し，かつ画像の鮮明感を増す処理をおこない，良好なカラー写真図が得られた。

◆ 第22回 医療情報処理研究会

(主査：開原成允，代表幹事：上野晴樹，佐々木陽，飯坂譲二，稲田 紘)

- 日時** 昭和54年2月17日(土) 午後2時～5時
- 会場** 大阪大学付属図書館中之島分館 5階会議室
〔大阪市北区中之島 4-3-12, 国鉄：大阪駅正面より，市バス 55番西船町行，市バス 75番鶴町4丁目行，ともに田蓑橋下車，または新大阪駅より地下鉄御堂筋線淀屋橋下車，西へ徒歩10分 Tel.06(443)5061〕
- 議題** ◎ AMHTSに蓄積されたデータにより今後の可能性を問う
- (1) 健診データの経時間的変化の解析
稲田 紘，武田 裕(阪大・第一内科)，吉川博通，佐藤 忠(住友生命)

〔概要〕 多項目データを対象に各年代の計測値の経年変化を解析, 更に, 反復受診者のデータにより個人の経年変化をも解析する.

(2) 健診データの信頼性の評価 岡本 登 (愛知県総合保健センター)

〔概要〕 蓄積されたデータをリトロスペクティブに検討し, 客観的立場での評価を生理検査を中心におこなう.

(3) メンバー制 AMHT 情報の特殊性と広がり—臨床医の立場から—

清島啓治郎 (PL 大阪健康管理センター)

〔概要〕 所見や数値について個人の生理的変動幅の概念をふるい分けの臨床に応用する場の諸問題について考察する.

◆ 第 19 回 コンピュータ・ネットワーク研究会

(主査: 高島堅助, 代表幹事: 苗村憲司)

日 時 昭和 54 年 2 月 22 日 (木) 午後 1 時 30 分 ~ 5 時 30 分

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 都営 1 号線大門, 都営 6 号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 新橋—渋谷線東京タワー, 等々力—東京駅八重洲口線飯倉 1 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) 画像データベースのオンラインリモートアクセスシステム

中川裕志, 齊藤忠夫, 猪瀬 博 (東大・工)

〔概要〕 画像データベースを管理するセンターに対して, 遠隔地の画像入出力可能なインテリジェント端末を用いて, オンラインアクセスをおこなう試作, システムについて述べる.

(2) パケット交換網におけるデータ端末の仮想化について

野村雅行, 田中良和 (日電・武蔵野通研)

〔概要〕 基本形伝送制御手順を用いた端末をパケット網に収容する場合につき, CCITT 勧告 X 3, X 28, X 29 と同様のパラメータ方式の適用可能性, 仮想端末への変換可能性などを検討した.

(3) MNA のフォーマットとプロトコル

太田 元, 水野忠則, 井手口哲夫, 梶原 誠, 松永 宏 (三菱)

〔概要〕 完全分散化を指向したネットワーク・アーキテクチャである MNA のフォーマットをプロトコルについて述べる.

(4) ユーザレベルプロトコル間の構造に関する一考察

松下 温 (沖電気), 勅使河原可海 (日電), 今村幸雄 (東芝), 山本欣子 (情開協会)

〔概要〕 コンピュータ・ネットワークにおけるユーザレベルプロトコルとしてメッセージ転送, 会話型処理, RJE, ファイル転送などの各プロトコル, および仮想端末処理機能などとの間の論理的, 物理的構造に関する一考察を述べる.

(5) 伝送制御手順の検証手法の一検討

野村民也, 浅野正一郎, 川井清幸 (東大・宇宙研)

〔概要〕 コンピュータ・ネットワークにおけるプロトコルの論理の完全さを自動的に検証することを目的とした検討をおこなったので報告する.

(6) コンピュータ・ネットワーク研究の現状と今後の動向

高島堅助, 苗村憲司 (電電・横須賀通研)

〔概要〕 本研究会の活動を中心として内外におけるコンピュータ・ネットワークの研究開発状況と今後の課題について述べる。

◆ 第 17 回 計算言語学研究会

(主査: 和田 弘, 代表幹事: 西村恕彦, 長尾 真, 野崎昭弘)

日 時 昭和 54 年 2 月 23 日 (金) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 9 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 意味構造からの日本語文生成プログラムについて

佐藤泰介 (電総研)

〔概要〕 機械によって抽出された日本語文の意味構造を入力とし, 文法と辞書を参照しつつ, 適切な日本語表層文を生成するシステムの機構及び問題点について詳述する。

(2) 漢字ドット・フォントからベクター・フォントへの変換

間下浩之 (日本アイ・ビー・エム)

〔概要〕 ドットマトリックス表現の漢字フォントをベクター表現に自動変換するアルゴリズムについて述べる。

「情報処理」の定価改訂と「論文誌」購読について

本年 1 月より, 従来の「情報処理」の中から, 論文のみを集めて掲載する「情報処理学会論文誌」(隔月刊) が分離発行されます。これにともない, 「情報処理」の定価ならびに「論文誌」の購読を次のように決定しましたので, お知らせいたします。

(1) 「情報処理」の定価

○第 20 巻 1 号 (54 年 1 月号) 以降 定価 1,200 円 (特集号 1,500 円)

○第 1 巻 1 号～第 19 巻 12 号 定価 1,000 円 (特集号 1,300 円)

(2) 「情報処理学会論文誌」の購読

○年間購読料 (送料を含む) 会員 4,500 円, 非会員 7,800 円

○一般定価 1 冊 1,500 円 (別に送料 200 円)

○年度途中からの購読 (年間購読料) ÷ 6 × (冊数)

講習会「Reliable Business Systems in Japan」 開催のお知らせ

コンピュータを利用したビジネスシステムにおける信頼性の問題は、その開発、運用の両面で極めて重要な問題である。

当学会では、昨年10月サンフランシスコで開催された第3回日米コンピュータ会議で、標記のタイトルで Special Session を行い、非常に好評をえた。発表論文は、何れも日本の代表的産業において、実際に開発されたシステムをテーマに、それぞれの立場からシステムの信頼性の重要な要因と実現方法につき、的確な説明をした極めて充実した内容のものである。奮って参加されることを期待します。

日 時 昭和54年2月21日(水) 9:30~15:30

場 所 機械振興会館(港区芝公園 3-5-8) 6階65号室 Tel. 434-8211

参加費 会員 6,500円, 非会員 9,500円

プログラム (発表と質疑討論を含めて各約1時間)

午前の部 (9:30~12:30)

1. 日本におけるリライアブル・ビジネスシステムの概要 水野 幸男(日電)
2. 日本の銀行システムにおける高信頼性の実現 加藤 英護(富士通)
3. 鉄鋼産業における生産管理システムについて
一和歌山製鋼工場のケース: WOADS-I 磯野 昌弘(住友金属)

午後の部 (13:30~15:30)

4. 国鉄の座席予約システムについて 山本 哲也(国鉄)
鴨川 和正(日立)
5. 食品産業における流通情報システムについて
一味の素(株)のケース 河野 利通(味の素)

.....切.....取.....り.....線.....

昭和54年 月 日

「Reliable Business Systems in Japan」講習会申込書

(該当欄に○印ください)

- 受講料 _____ 円(会員, 非会員)を下記により送付いたします。
- a. 現金書留 b. 銀行振込(三菱, 住友, 第一勧銀各虎ノ門支店, 三井日比谷支店), 郵便振替は時間がかかりますから, 受けられません。
- 申込者 氏 名 _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

(注) 本学会賛助会員は一口一人として正会員に準じます。

コンピュータ・ネットワーク講習会開催予告

コンピュータ・ネットワークに関する講習会を情報処理学会の事業の一環として、下記のように開催する予定です。

主 題 「コンピュータ・ネットワーク技術とその応用」*

日 時 昭和 54 年 3 月 19 日 (月)

場 所 都道府県会館 (千代田区平河町) (予定)

参加費 約 7,000 円

プログラムの企画は、コンピュータ・ネットワーク研究会が中心になって行っています。関心のある方は、奮ってご参加ください。

* 総論, 新データ網サービス, 国際データ通信, ネットワークシステムの実際, 標準化動向などにつき, 解説する。

第 8 回世界コンピュータ会議 (IFIP Congress 80) の論文募集について

1980 年 10 月開催の標記国際会議の論文募集を行います。締切りは本年 **12 月 31 日** となっていますので、本号第 70 ページの Call for Papers を参考に、準備願います。

昭和 53 年度会費の納入についてのお願い

本年度 (53 年度) 会費については、既に第 2 回目の請求を昨年 12 月上旬に行いまして、大方の皆様が納入を済まされましたが、未だ一部に何等の音信なき方がおり、はなはだ困惑しております。

つきましては、未納の方は、1 月中に必ず納入してくださいませよう、ご協力がたよろしくお願いいたします。

「ソフトウェア工学シンポジウム」案内

テーマ：「ソフトウェア・ツール」

——ソフトウェア開発諸段階における最新技術——

日時：昭和54年1月31日（水）午前9：30～午後6：00
2月1日（木）午前9：30～午後5：15
2月2日（金）午前9：30～午後5：00

場所：機械振興会館 大ホール（地下2階）

協賛：電気学会，電子通信学会

参加費：情報処理学会員，協賛学会員 12,000 円，学生会員 8,000 円
非会員 18,000 円

レセプション：2月1日（木）午後5：45～ 会場 6階67号室
（レセプション参加費 3,000 円は別途頂きます）

Proceedings：参加者には，当日，会場にてお渡し致します。

申込締切：前号添付の申込書に必要事項を記入し，1月19日（金）までにお申し込みください。

—— プログラム ——

第1日 1月31日（水）

開会講演（9：30～10：00）

- ・ソフトウェア・ツールの位置づけ（東大 国井）

セッション1 基調講演（ソフトウェア・ツールの理論と
実際）（10：00～12：30）

- ・プログラミングの形式化とソフトウェア・
ツールのありかた（京都産大 謝）
- ・ソフトウェア・ツールの実際（東工大 木村）

休憩（11：30～11：45）

- ・ソフトウェア開発用ツールの実用化上の諸問題
（日電 水野）

昼食（12：30～13：30）

セッション2 設計用ツール（13：30～16：00）

- ・設計用ツールの現状と将来方向（日電 東）
- ・設計用言語 SPECIAL について（東大 国井，北川）
- ・データの流れるによる設計のための設計言語
（日電 業合）

休憩（16：00～16：15）

セッション3 基本ソフトウェアの記述ツール

（16：15～18：00）

- ・システム記述言語の最近の傾向（日立 中田）
- ・システム記述言語の記述性（青学大 井田）

第2日 2月1日（木）

セッション4 応用ソフトウェアの記述ツール

（9：30～13：45）

- ・SDSS について（富士通 竹内，落合）
- ・実時間制御システムの要求定義について
（東芝 松本）

- ・要求仕様記述の検証（京大 阿草，伴，大野）

昼食（12：00～13：00）

- ・UMS の開発について（日科技研 恒川）

セッション6 デバッグとテストのツール

（13：45～15：30）

- ・テスト支援ツール——そのサーベイ（日電 宮本）
- ・テスト・マネージャとその利用
（JMA システムズ 小太刀）

休憩（15：30～15：45）

セッション8 ソフトウェア・メインテナンスの基本と

実際（15：45～17：15）

- ・NHK におけるシステム・
メインテナンスの実際（NHK 大島）

- ・VM/CMS によるプログラムの

メインテナンス（日本 IBM 山谷）

第3日 2月2日（金）

セッション5 ソフトウェア製造ツール

（9：30～12：00）

- ・ソフトウェア製造ツールの最近の傾向（東大 和田）
- ・COBOL コード生成プログラム（ユニバック 山崎）
- ・DEMOS-E の NC プロセサ・
ジェネレータ（横須賀通研 藤田）

昼食（12：00～13：00）

セッション7 ソフトウェアの解析と評価のツール

（13：00～14：45）

- ・データ・フロー解析（慶大 原田）
- ・プログラムの動的解析と評価のツール（九大 牛島）

休憩（14：45～15：00）

セッション9 プロジェクト管理のツール

（15：00～17：00）

- ・階層的プロジェクト管理支援（日電 岩元）
- ・ソフトウェア一貫生産システム（東芝 佐々木）